



平成 29 年 8 月 7 日

報道関係各位

2017 年度の駅西地区におけるもったいないプロジェクト開始について

残暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、8 年目に入る野菜の引き売り等による買い物支援事業「もったいないプロジェクト」は駅西地域でのリヤカーでの販売や上土地域での定期市など 3 地区 5 か所において展開をしてきました。

開始にあたって連携・協力関係にあった企業は、農家とレストランなどを直接結ぶ農業事業部の立ち上げ（松本倉庫）や大型販売車による移動販売事業の展開（e-Project）などビジネスとして買い物支援や農産物流通に取り組んでいます。また、市内コンビニでは野菜市と移動販売というもったいないプロジェクトのスタイルと同じ形で事業を展開し周辺の高齢者から喜ばれるなど、ビジネスモデルの提案というもったいないプロジェクトの初期の目的は達成されたと考えています。

そこで、本年度は、すでに構想から 10 年近くがたち外部環境が大きく変化するなかで、本年度は次のような方針にて事業を展開することにします。

- ① 地域の課題を捉え、今後ビジネスモデルとして展開されるような取り組みを行う
- ② 具体的には、買い物支援システムを地域の住民が主体的に取り組むような取り組みを行なう
- ③ 人々の居場所として役割を果たしてきた引き売りの特徴を維持するために地域の居場所づくりや高齢化した農家の居場所づくりをおこなう
- ④ すでに先駆的な取り組みを進めている移動販売事業などの事業者や既存の青果店・スーパー・コンビニ等の連携を模索する

駅西地区における本年度の最初の取り組みとして、8 月 10 日（木）午後 3 時 30 分より今年初めてのもったいないプロジェクトを駅西地区にて学生が行ないます。つきましてはお忙しいとは存じますが、事業に関して取材方宜しくお願い致します。

敬具

記

- 1 日時 2017 年 8 月 10 日（木）15 時 30 分～（準備で学生は 14 時に集合）
- 2 場所 15 時 30 分にいばらん亭を出発（白板・巾上 2 ルートで実施）
- 3 内容 野菜の販売
- 4 参加者 学生 15 名程度

以上



2017 年度駅西地域での買い物支援事業の活動について

① 基本的な考え方

アリオの撤退など駅周辺の買い物環境が大きく変化する中で、学生がいなければ続かない仕組みではなく、地域の人自身が買い物の問題を解決できるように、そのきっかけ作りを行なう。

② 今年度大事にしたいこと

- ・ これまで出荷をお願いしてきた農家さんにとって学生が野菜を仕入れることは、経済的な意味よりも生きがいや人との接点になっていることを踏まえて、高齢化して孤立化した農家を支える意味を大切にす
- ・ これまで野菜をリヤカー等で販売するなかで学生との交流や重い野菜の購入などで必要としてくださった顧客を大切にす
- ・ 今後地域が主体となり買い物支援事業が継続するようにそのスタートの年と位置づける

③ 進め方

農家さんのペースを配慮して月に 2 回の頻度でいばらん亭の駐車場にて野菜の販売を行なう。木曜日の午後 3 時 30 分からとしてこれまで顧客となって頂いている方々を対象として巾上南・協立病院前・スモークハウス前・パチンコ屋前などに出前販売ないしは配達を行なう。

④ これまでの取り組みと今後の日程

6 月

- ・ 農家さんと話し合いを行い淋しさなどの課題の有無や交流の可能性などを確認
- ・ 顧客に対してニーズの確認と今年の趣旨の説明
- ・ 農家さんと顧客から理解を得て今年度の実施を決定

7 月

- ・ 仕入先の選定、野菜の品揃えの検討、運搬方法、利益の配分などを検討。8 月以降
- ・ 7 月の状況を見て検討し必要によって見直す

8 月

- ・ 10 日に初回を引き売りの形で実施する予定。今後は第 2・4 木曜日に実施
- ・ アリオ撤退に向けた買い物支援についての検討として、いばらん亭における野菜販売、移動販売を行なっている e-Project の試験販売の実施、コンビニ・青果店との関係検討
- ・ 実態の調査
 - 現在の買い物行動とアリオ撤退の影響（短期的）
 - 今後の買い物に関する課題（長期的）
- ・ 上記検討を踏まえて見直し秋以降実証的な販売実験を行なう